

東北地方小委員会の概要と意見

令和2年度予算に向けた道路事業の新規事業採択時評価について、東北地方小委員会を持ち回り開催した結果を、以下のとおり社会資本整備審議会道路分科会に報告する。

令和2年3月12日

社会資本整備審議会道路分科会
東北地方小委員会委員長 浜岡 秀勝

□委員名簿

氏名	所属・役職
おのざわ あきこ 小野澤 章子	岩手大学 人文社会科学部 准教授
きくち あきら 菊池 輝	東北工業大学 大学院工学研究科 教授
こばやし まさあき 小林 正明	(一社)東北経済連合会 専務理事
たかひ しのぶ 高樋 忍	(公社)青森観光コンベンション協会 理事
ぬくい とおる 温井 亨	東北公益文科大学 教授
【委員長】 はまおか ひでかつ 浜岡 秀勝	秋田大学 理工学部 システムデザイン工学科 教授
みやはら いくこ 宮原 育子	宮城学院女子大学 現代ビジネス学部 現代ビジネス学科 教授
よしだ いつき 吉田 樹	福島大学 経済経営学類 准教授

□対象事業

- 一般国道4号 北上花巻道路
- 一般国道106号(宮古盛岡横断道路) 田鎖墓目道路
- 一般国道112号 山形中山道路

□議事概要

【一般国道4号 北上花巻道路】

- 現道周辺への企業進出により、交通負荷の増大が想定されるため、早急な整備が必要。

【一般国道106号(宮古盛岡横断道路) 田鎖墓目道路】

- 国の権限代行で進めるのであれば、地域の防災安全上、早急な整備が必要。
- 整備後の現道については、利用状況等も踏まえ、必要な対策を行うべきである。

【一般国道112号 山形中山道路】

- 市街地の縁辺部に整備されるため、交通機能が十分に確保される構造とすべきである。
- バイパスと現道の役割分担を図るために必要性が高いと考えられる。

□結論

一般国道4号 北上花巻道路
一般国道106号(宮古盛岡横断道路) 田鎖墓目道路
一般国道112号 山形中山道路
の新規事業化については妥当である。